

地方創生推進交付金事業に係る事業評価【検証シート】

資料2

事業年度	令和5年度
検証実施	令和6年度

	A	B	C	D				E		F		G	
	交付対象事業の名称	交付金の種類	事業実績額 単位:円	本事業における重要評価指数(KPI) (R5年度末)				本事業終了後における実績値(R5年度末)		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位		実績値	a 事業効果	b 事業の評価	c 外部有識者からの意見	d 今後の方針	e 今後の方針の理由
1	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト (第55回地域再生計画認定)	地方創生推進交付金	29,930,365	指標①-1	地域みらい留学生徒数	10	人	7	②	①	R5年度においては、本プロジェクトの実施による地方版総合戦略のKPI達成に有効であり、非常に効果が現れてきている。今後も継続的な事業展開を望む。	①	R5年度はコロナ感染症が5類に移行したことに伴い、各種事業が積極的に展開できた。令和6年度で交付金を活用した事業は終了となるが、本事業を評価して更なるブラッシュアップを図りたい。あわせて、川口高校を卒業した生徒とも積極的に関係を保ち、今後の人材育成につながるような事業の強化につなげたい。
				指標①-2	卒業後も地元に関わった大学生数	2	人	3	①				
				指標①-3	高校へのふるさと納税応援者数	12	人	34	①				
				指標②	地域みらい留学フェスタ参加者数	60	人	301	①				
				指標③	地域課題解決大会参加者数	6	人	7	①				
				指標④	共学共創ネットワーク参加自治体・学校数	2	団体	2	②				

(E-a)
①地方創生に非常に効果的であった。(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた場合)
②地方創生に相当程度効果があった。(一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なすことができる場合)
③地方創生に効果があった。(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなすことができる場合)
④地方創生に対して効果がなかった。(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言いがたい場合)

(F-b) ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	(G-d) ①事業の継続 (計画どおりに事業を継続する) ②事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる) ③事業の改善 (事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う)	④事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止する) ⑤事業の終了 (当初予定どおり事業を終了する)
---	---	--